



## AS Series／製品個別注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。安全上のご注意につきましてはP.11、駆動制御機器／共通注意事項につきましてはP.19～22をご確認ください。

### 設計上のご注意／選定

#### ⚠警告

##### ①仕様をご確認ください。

本カタログ記載の製品は、圧縮空気システム(真空含む)においてのみ使用されるように設計されています。

仕様範囲外の圧力や温度では破壊や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。(仕様参照)

圧縮空気(真空含む)以外の流体を使用する場合は、当社にご確認ください。

仕様範囲を超えて使用した場合の損害に関して、いかなる場合も保証しません。

##### ②漏れがゼロを必要とするストップ弁としては使用できません。

製品の仕様上、ある程度の漏れを許容しています。

漏れをゼロにするために無理にニードルを締込むと、破損する場合があります。

##### ③分解・改造の禁止

本体を分解・改造(追加工含む)しないでください。

けがや事故の恐れがあります。

##### ④各製品の流量特性は代表値となります。

流量特性は製品単体での特性です。配管、回路、圧力条件等により異なります。

##### ⑤各製品の音速コンダクタンスおよび臨界圧力比は代表値となります。

また、スピードコントローラの制御流れはニードル全開状態、自由流れは全閉状態での値となります。

##### ⑥PTFEが使用可能かご確認ください。

おねじタイプの管用テーパねじのシール剤にはPTFE(四ふっ化エチレン樹脂)パウダーが含まれています。使用上問題ないかご確認ください。

製品安全データシート(SDS)が必要な場合は、当社へご確認ください。

##### ⑦スピードコントローラは、アクチュエータの速度制御を目的とした製品です。

ブロー等の流量調整に使用する場合は、チェック弁機能をなくした絞り弁(X214、X21)をご使用ください。

### 取付

#### ⚠警告

##### ①取扱説明書は

よく読んで内容を理解したうえで製品を取付けご使用ください。

また、いつでも使用できるように保管しておいてください。

##### ②メンテナンススペースの確保

保守点検に必要なスペースを確保してください。

##### ③ねじの締付けおよび締付トルクの厳守

取付け時は、適正トルクでねじを締付けてください。

### 取付

#### ⚠警告

##### ④プッシュロックハンドルがロックされている事をご確認ください。

ロック後、ロックが効いているかハンドルを左右に動かしてご確認ください。なお、ハンドルを無理に引張りますとハンドルが破損する場合があります。無理な力で引張らないでください。



ロック時



アンロック時

##### ⑤ニードル弁の回転数をご確認ください。

抜止め機構付ですので、これ以上は回転しません。ニードルの回し過ぎは、破損の原因となりますので、使用製品の回転数をご確認ください。

##### ⑥ペンチ等の工具でハンドルを締付けしないでください。

ハンドルの空回り、破損の原因となります。

##### ⑦流れ方向を確認して取付けてください。

逆向きに取付けた場合、速度調整用のニードルがかかず、アクチュエータが急に飛出す場合がありますので危険です。

##### ⑧速度調整はニードル全開状態から徐々に開いて調整してください。

ニードル弁が開いていると、アクチュエータが急に飛出す場合がありますので危険です。

なお、ニードル弁は右回転で閉、左回転で開ですので、アクチュエータの速度は右回転で遅くなり、左回転で速くなります。

##### ⑨ボディや継手部への衝撃、工具によるこじり、打撃は避けてください。

破損やエア漏れの原因となります。

##### ⑩ワンタッチ管継手の取扱いにつきましてはP.14～18の管継手&チューブ／共通注意事項をご参照ください。

##### ⑪チューブ外径φ2について

当社以外のチューブは使用できません。チューブが接続できなかったり、または接続後のエア漏れやチューブ抜けの原因となります。

##### ⑫取付け・取外しはボディBの六角二面幅を適正なスパナで締込んでください。

それ以外の部分を使用すると破損の原因となります。取付け後の位置合わせは、ボディAを手で回転させて行ってください。

AS-F

JAS

AS-FS

AS-P

Uni  
AS

ASD

AS

AS-FM

AS-FG

ASG

AS-W2

ASB

AS  
F□S

AS-FP

AS-FE

ASP

JASV

ASV

AS-D

ASB-D

AS-T

ASR  
ASQ

ASN2

AS-  
DPX

AQ

KE

AS  
X785

AK

VCHC



## AS Series / 製品個別注意事項②

ご使用前に必ずお読みください。安全上のご注意につきましてはP.11、駆動制御機器／共通注意事項につきましてはP.19～22をご確認ください。

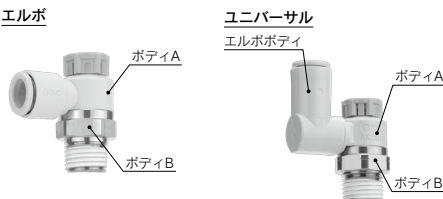
### 取付

#### 警告

- ⑬ ボディAとエルボボディは常時回転する場所では使用しないでください。

ボディAもしくは継手部が破損する場合があります。

#### エルボ



#### 注意

##### M5, 10-32UNFの場合

##### 締込み方法について

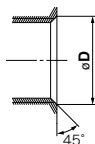
手締め後、締込み工具を用いて約1/6～1/4回転増締めしてください。参考値としては、締付トルク：1～1.5N・mです。

注) ねじ込み過ぎるとねじ部の折れやガスケットの変形によるエア漏れの原因となります。

ねじ込みが浅いとねじ部の緩みやエア漏れの原因となります。

##### めねじ面取りの大きさ

- ① ISO16030 (空気圧流動クレーン接続ポートおよびスタッドエンド) に準拠して、下表の面取径を推奨します。

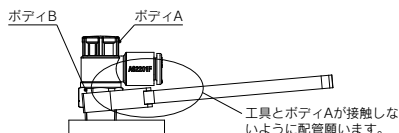


| めねじサイズ   | 面取口径φD (推奨値) |
|----------|--------------|
| M5       | 5.1～5.4      |
| 10-32UNF | 5.0～5.3      |

- ② 本製品は回転方向に全閉ストッパが付いています。過大なトルクをかけると破損しますのでご注意ください。ハンドルの最大許容トルクは表の通りです。

| ボディサイズ | 最大許容トルク N・m |
|--------|-------------|
| M5     | 0.05        |
| 1/8    | 0.07        |
| 1/4    | 0.16        |
| 3/8    | 0.2         |
| 1/2    | 0.4         |

- ③ 配管施工時、締付工具をボディBの六角面に対して、水平に置いていただき、ボディAにモーメントなどの負荷がかからないようにお願いします。工具とボディAが接触した場合、ボディB抜けの原因となります。



#### 注意

##### R, NPT (シール削付) の場合

##### 締込み方法について

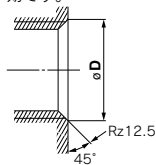
- ① ねじ込みの際は下表の適正締付トルクにて締めてください。

目安としては手締め後、工具で2～3回転に相当します。六角二面幅は各製品の寸法表にてご確認ください。

| 接続ねじサイズ   | 適正締付トルク N・m |
|-----------|-------------|
| NPT, R1/8 | 3～5         |
| NPT, R1/4 | 8～12        |
| NPT, R3/8 | 15～20       |
| NPT, R1/2 | 20～25       |

##### めねじ面取りの大きさ

下表の面取りを行うことにより、ねじ加工性・バリの防止にも有効です。



| 接続ねじサイズ | 面取口径φD (推奨値) |           |
|---------|--------------|-----------|
|         | Rc           | NPT, NPTF |
| 1/8     | 10.2～10.4    | 10.5～10.7 |
| 1/4     | 13.6～13.8    | 14.1～14.3 |
| 3/8     | 17.1～17.3    | 17.4～17.6 |
| 1/2     | 21.4～21.6    | 21.7～21.9 |

※ Uniねじの場合、面取部でシールするため、Rz12.5が必要です。

##### パッキンシール管継手R, NPT, Gねじの場合

##### 締込み方法について

ねじの締込みは、ねじ部手締め後、ボディの六角面を使用し適正なスパナで、下表の増締め角度で締めてください。参考値としては下表の締付トルクとなります。六角二面幅は各製品の寸法表にてご確認ください。

- 1) ねじ込みの際は、下表の適正締付トルクにて締めてください。

| 接続ねじサイズ (R, NPT, G) | 適正締付トルク N・m |
|---------------------|-------------|
| 1/16, 1/8           | 3～5         |
| 1/4                 | 8～12        |
| 3/8                 | 15～20       |
| 1/2                 | 20～25       |

- 2) ねじ込みが浅いと、シール不良やねじの緩みの原因となります。

- 3) 再使用について

- ① 通常6～10回の再使用が可能です。  
② シールリングは、交換できません。



## AS Series／製品個別注意事項③

ご使用の前に必ずお読みください。安全上のご注意につきましてはP.11、駆動制御機器／共通注意事項につきましてはP.19～22をご確認ください。

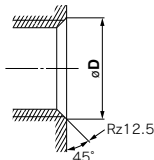
### 取付

#### ⚠ 注意

#### パッキンシール管継手R, NPT, Gねじの場合

##### めねじ面取りの大きさ(推奨値)

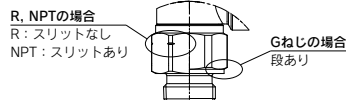
- ①ISO16030-2001に準拠して、下表の面取径を推奨します。  
下表の面取りを行うことにより、ねじ加工性・バリの防止にも有効です



| ねじの呼び | 面取口径 $\phi D$ |      |
|-------|---------------|------|
|       | min.          | max. |
| 1/8   | 9.8           | 10.2 |
| 1/4   | 13.3          | 13.7 |
| 3/8   | 16.8          | 17.2 |
| 1/2   | 21.0          | 21.4 |

- ②GねじはGねじへねじ込んで使用してください。

##### G, R, NPTねじ見分け方について



#### Uniねじの場合

##### 締込み方法について

- ①ねじ部手締め後、ボディの六角面を使用し適正なスパナで、下表の増締め角度で締込んでください。参考値としては下表の締付トルクとなります。

##### 接続めねじ: Rc, NPT, NPTF

| Uniねじサイズ | 手締め後の増締め[deg] | 締付トルク[N・m] |
|----------|---------------|------------|
| 1/8      | 30～60         | 3～5        |
| 1/4      | 30～60         | 8～12       |
| 3/8      | 15～45         | 14～16      |
| 1/2      | 15～30         | 20～22      |

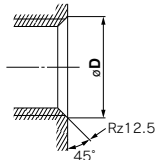
##### 接続めねじ: G

| Uniねじサイズ | 手締め後の増締め[deg] | 締付トルク[N・m] |
|----------|---------------|------------|
| 1/8      | 30～45         | 3～4        |
| 1/4      | 15～30         | 4～5        |
| 3/8      | 15～30         | 8～9        |
| 1/2      | 15～30         | 14～15      |

- ②ガスケットは6～10回の繰り返し使用が可能です。

##### めねじ面取りの大きさ

下表の面取りを行うことにより、ねじ加工性・バリの防止にも有効です。



| 接続ねじサイズ | 面取口径 $\phi D$ (推奨値) |           |           |
|---------|---------------------|-----------|-----------|
|         | G                   | Rc        | NPT, NPTF |
| 1/8     | 10.2～10.6           | 10.2～10.4 | 10.5～10.7 |
| 1/4     | 13.6～14.0           | 13.6～13.8 | 14.1～14.3 |
| 3/8     | 17.1～17.5           | 17.1～17.3 | 17.4～17.6 |
| 1/2     | 21.4～21.8           | 21.4～21.6 | 21.7～21.9 |

※Uniねじの場合、面取部でシールするため、Rz12.5が必要です。

### シール付 配管

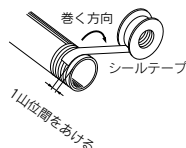
#### ⚠ 注意

- ①ねじ込み過ぎると、シール剤の外部へのはみ出し量が多くなります。はみ出したシール剤は除去してください。
- ②ねじ込みが浅いと、シール不良やねじの緩みの原因となります。
- ③再使用について
  - 1) 通常2～3回の再使用が可能です。
  - 2) 取外した管継手に別離し、付着しているシール剤をエアブロー等で除去してから再使用ください。別離したシール剤が周辺機器に入込むとエア漏れや作動不良の原因となります。
  - 3) シール効果がなくなった場合には、シール剤の上からテープ状シールを巻いて再使用ください。テープ状シール剤以外は使用しないでください。
- ④位置決めが必要な場合などでは、ねじ込み後に戻すとエア漏れの原因となります。
- ⑤RねじはRcねじへ、NPTねじはNPTねじへねじ込んで使用してください。

### 配管

#### ⚠ 注意

- ①ワンタッチ管継手の取扱いにつきましてはP.14～18の管継手&チューブ／共通注意事項をご参照ください。
- ②配管前の処置  
配管前にエアブロー(フラッシング)または洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、ゴミ等を除去してください。
- ③シールテープの巻き方  
配管や継手類をねじ込む場合には、配管ねじの切粉やシール材が配管内部へ入り込まないようにしてください。  
なお、シールテープを使用される時は、ねじ部を約1山残して巻いてください。



AS-F

JAS

AS-FS

AS-P

Uni AS

ASD

AS

AS-FM

AS-FG

ASG

AS-W2

ASB

AS FCS

AS-FP

AS-FE

ASP

JASV

ASV

AS-D

ASB-D

AS-T

ASR ASQ

ASN2

AS-DPX

AQ

KE

AS X785

AK

VCHC